

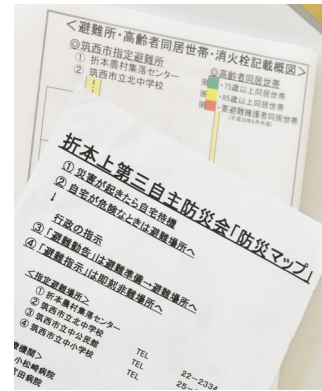
# 防災

## 地域のテーマを市民の目線で 市民記者のページ



ゆきお 栗原 幸雄 さん(樋口)

年の初めに家の防災対策と併せて「共助」について考えたいと思います。



地域内の避難所や高齢者世帯などが明示された防災マップを各世帯に配布しています。

結成から2年目には、隣接する折本上第一・二自治会と共同で防災訓練と研修会を行い、だれもが災害時に自分で行動できるように「消火器の使い方」や「車いすの救出救護」、「AEDの使い方」の訓練や非常食の炊き出し体験をされたそうです。この活動で中丸会長は「非常食の炊き出しがうまくできなかったことが

災害はいつ発生するかわかりません。家庭内でハザードマップを活用し、防災用具や避難場所の見直しや家族同士での決め事などを確認しておくことが重要であり、自治会での「共助」についても一考する必要があると思います。

市内における自主防災組織の結成数は114組織であり、市ではさらなる結成向上のため、地域の防災活動に補助金を用意し、防災組織の作

### 筑西市の防災活動

今回は、自主防災活動について、中地区折本上第三自治会の中丸会長にお話を伺い、災害時に地域や近隣の人が互いに協力し合い、大切な命を守る「共助」について考えてみます。

近年、東日本大震災や鬼怒川・小貝川の氾濫などの大きな災害が発生し、市内でも建物の損壊や浸水で不便な生活を経験した人がいたと思います。

## あなたの自治会も災害時の共助を考えてみませんか 折本上第三自治会で構築した防災体制

り方、訓練方法などのアドバイスを市職員により行っています。

### 折本上第三自治会の防災活動

折本上第三自治会では、平成29年11月に地区内で落雷による火災が発生したことで、自治会員の意識が高まり、翌年4月の総会で自主防災組織の結成を決めました。

自治会では「自主防災会規約」や災害時の行動を明確にするための「組織図」、「非常連絡網」を作成し、防災訓練を実施しました。市から支給された補助金では、各世帯分の非常持出用袋(3800円)と各種防災用具を購入したそうです。また、



中地区の災害を想定した地図と中丸会長

避難時の行動や避難場所、緊急連絡先が明示されたオリジナルの「防災マップ」を作成し、各世帯に配布しました。ハザードマップと併せて保管すると、避難場所や取るべき行動などが一目でわかり、災害時に活用できます。近隣住民との結びつきが希薄になる中、自治会単位の防災マップは非常に役立つと感じました。



近隣自治会と共同で行った防災訓練と中地区公民館に展示している防災用品

### 防災の見直しを

今年度からは、中地区自治会員や消防団、交通安全協会などの関係団体のみなさんと連携した、「地域防災体制づくり」を推進しているところで、7月には基本構想や組織について説明し、8月は研修会を行ったとのこと。

## 自主防災組織

### 自主防災組織の必要性

大規模災害の発生時、自治会などによる自主防災組織が結成されていれば、1つの組織として迅速な対応が可能になります。みなさんのお住まいの地域では、地域ぐるみでの災害への備えはできていますか。災害発生時を想定した、自主防災組織結成の必要性を見直してみませんか。

### 備えあれば憂いなし

深見自治会では、平成27年8月に自主防災組織を結成しました。翌月には市から自主防災組織活動育成補助金をいただき、消火器や無線機などを購入しました。当自治会は災害に弱い地域です。災害時に、取るべき行動を事前に確認しておくことで、いざという時に、落ち着



深見自治会長 大和田 豊 さん

いて行動することができると思います。「まさか」はいつかやってきます。その時に、慌てず対応できるように、地域の防災力を高め、万全の備えをしておきたいです。

### 自主防災組織活動育成補助金

市では、災害対策用資材の購入費の補助など自主防災組織の活動を支援しています。

限度額：**20万円**  
(1組織1回限り)



発電機、消火器、備蓄食料、救急用品の購入などに利用できます。

## 防災士

### 地域防災力の向上のために

防災士には家庭・職場・地域のさまざまな場面で幅広い活躍が期待されます。災害への対応知識を備えることで、私たちの生命や財産を守ることができま

### 防災士育成補助金

市では、地域の防災力向上となる人材を育成するため、防災士の資格取得に必要な費用を補助します。

限度額：**6万2千円** (1人あたり)

補助対象経費：研修講座受講料、資格取得試験受験料、資格認証登録料

### 防災士

### その人に合った防災・避難時の提案をしています

災害時に誰かの手を借りないと避難できない人が増えています。災害時のことをみんなで考えられないだろうかと考えていた時、市の補助事業「防災士育成補助金」制度を知り、防災士の資格を取得しました。本人や家族も含め、医療介護で支援するみなさんに、避難時のことや防災のことを日常的に考えられるよう、防災士として提案しています。



医療ソーシャルワーカー 古市 律子 さん

### 防災士

### 地元密着の郵便局 地域貢献のため防災士へ

郵便局を安心・安全な場として機能させ、地元住民を避難場所へ誘導することが局長の務めだと思いい、局長に就任した4月に、市の「防災士育成補助金」を利用し資格を取得しました。郵便局では「筑西市ハザードマップ」の揭示や安全な避難に関する案内を行っています。今後は、小中学校の防災訓練や地域の自主防災組織の活動に参加し、地域の防災力向上に貢献したいです。



下館駅前郵便局長 志水 繁 さん

市では、地域防災力向上に必要な「自主防災組織の結成」や家族・会社の安全を守る「防災士の育成」を支援しています。今回は、「自主防災組織活動育成補助金」と「防災士育成補助金」について紹介します。

### 自助

自分の命や財産を自分で守る

### 共助

自分のたち住む地域を自分たちで守る

### 公助

市や県など公的機関の救助や支援